令和５年度（２０２３年度）　学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	工　業	科目	電子技術	単位数	２	学年	２	科	電気科

１、科目の目標

電子工学における半導体素子や電子回路について学習し、実際に活用する能力を養うために必要な基本的技術を身につける

２、使用教科書・副教材

電子技術（実教出版）

３、学習の計画

		学習の内容	考査範囲	予定時数
一学期	４月 ５月 ６月	半導体素子 原子と電子…原子の構造、自由電子と正孔 半導体…半導体の性質、ダイオード、トランジスタ、ＦＥＴ 集積回路…特徴と種類 その他の半導体素子…発光・受光素子、光による信号伝達素子 アナログ回路 増幅回路の基礎、バイアス回路、各種増幅回路、発振回路	中間考査 期末考査	２０
二学期	７月 ８月 ９月 １０月 １１月	変調回路と復調回路、電源回路 デジタル回路 論理回路、デジタルＩＣ、パルス回路、AD変換とＤA変換 通信システムの基礎 通信の基礎 有線通信システム、無線通信システム、データ通信システム、 画像通信、通信関係法規	中間考査 期末考査	２８
三学期	１２月 １月 ２月 ３月	音響・映像機器の基礎 音協機器、映像機器 電子計測の基礎 高周波計測、電子計測器、センサによる計測	学年末考査	２２

４、評価の方法

学習評価	学習の成果	定期テストの得点を評価する	
		課題への取り組み状況と、学習成果を評価する	
		ノートを提出させ、確認しその内容を評価する	
	観点別評価	観点⑴：知識・技能を評価する。	観点別評価の内容は、別紙：「評価の観点の趣旨」Ｅ９による。
		観点⑵：思考・判断・表現を評価する。	
		観点⑶：主体的に学習に取り組む態度を評価する。	

５、学習にあたっての注意とアドバイス

授業に集中して取り組み、ノートをしっかり取る
疑問点については質問し、ノートについては自分なりに工夫して整理する
配布するプリント類もきちんと整理すること
考査、提出物、授業態度を総合して評価する